

平均月収2万円弱のルーマニアにとって、愛知世界選手権は哀しい話題だった。彼らの年収に相当する渡航費・参加費・滞在費は過去いずれのWOCに比べても最高額。

だけど、彼らにとって一生のうちで参加できるWOCがあるとすれば、それは友人である私がいる愛知世界選手権しか有り得ないっ！

・・・という奮起から約9ヶ月が経ち、40万円程度の資金調達が見え始めたころのお話です。

羽田孜さんに陳情！

2005年5月24日(金) 晴れ。郵政公社民営化議論に国が揺れていたこの日、私は衆議院議員会館を訪れた。目的は羽田孜さん(元総理大臣。省エネスーツで有名・・・って20代の人には知らないかな?)ももともとは半年前の11月、日本ルーマニア協会理事長兼国際オリンピック協会副会長の猪谷千春さんのアイデアで、当協会会長の羽田孜さんに陳情してみたらどうかという動きがあったのだが済し崩しになってしまったことがいよいよ実現するのだ。

といっても今回の訪問の直接キッカケは猪谷さんではなく、我が「ときわ走林会(2005年度CC7で優勝)」所属の上野山さんだ。

4月中旬のときわ走林会の総会の席で、上野山さんに、茨城県OL協会会長兼 自由民主党参議院議員狩野安(かのうやす)さんに会うことはできないかとお願いをしてみたところ、狩野安さんへの面会が実現しただけではなく、羽田孜さんへの面会まで実現できたというわけである。

そもそも狩野安さんに対する依頼書として以下のことをお願いしていた。

1) 狩野安さんが名誉会長を務める水戸厚生保護女性会の集会で、当活動について話をさせてもらうこと

2) 羽田孜さんに会わせてもらうこと

こんな無茶なお願いが叶えられるなんて、お願いしてみるもんだなー。

いよいよやってきた5月24日の朝10時。仲介を買っていただいた茨城県OL協会の幕内さんと共に参議院会館に乗り込んだ。まずは狩野安さんと会って挨拶した後、羽田孜さんのいる衆議院会館に行く手はずになっている。

1階の受付で、用紙に名前と狩野安さんの名前を書き、呼び出されるのを待つ。ほどなく「直接お部屋へどうぞ」という受付のお姉さんの声にドキドキしながら幕内さんと一緒に狩野安さんの部屋を訪ねた。

719号室に向かう途中に、チラチラとほかの部屋も覗いてみると、だいたいどこも同じ間取りで5畳程度の部屋の奥に8畳程度の部屋がある。知ってる政治家の名前を見ると、「おっ」と思う。

部屋で待っていた狩野安さんは、温厚そうな熟女。上品な笑顔を浮かべながら、幕内さんのオリエンテーリング話に相槌。私もその合間に愛知世界選手権の話とルーマニアの話の披露。

「羽田さんとの約束まで、まだちょっと時間がありますね・・・」と時計に目をやった狩野安さんは私に、「国会議事堂の中は見たことはありますか?」と聞くので「いや、ありません」と直立不動で答え、「あらまあ、それは・・・」と悩ましげな表情をされ、「加藤、議事堂を案内しておやり」と傍に控えていたハンサムな秘書に声を掛けた。「ははっ」と畏まった加藤秘書に連れられて、幕内さんと私は、羽田孜さんに会う前に国会議事堂を見学することになったのだ。

(・・・以下中略・・・)

国家最高府を議員秘書の案内で見学できた興奮に、蒸気した顔で再び719号室に戻ってきた私に、狩野安さんは「おもしろかったですよ。ではそろそろ時間ですから行きますか」と再び幕内さんと私、加藤秘書を誘い出した。いよいよ、羽田孜さんの部屋へ行くのだ。

地下道を通り抜け(参議院と衆議院、

そして国会議事堂は地下道で繋がっている!!) 衆議院議員会館に入った。さすが衆議院、部屋の入り口にかかる政治家の名前のメジャー度が違う!!

羽田孜さん登場

部屋で待っていた羽田孜さんはTVで見たまんまだった。「でも省エネスーツは着てないんだな」と多少ガッカリした私の側で、狩野安さんはなにかのお礼を言っている。政治家同士、参・衆・政党の枠を超えてのお付き合いであるらしい。だから今回のセッティングも実現したのである。

細長いこぶりなテーブルの短い端に羽田孜さんが座り、脇の長い端に私と幕内さん、その反対の長い端に狩野安さんと加藤秘書が座った。みな心持ち羽田孜さんの方向へ足と顔を向け、その先で羽田孜さんは「元総理大臣」の貴祿を滲ませている。

羽田孜さんとの世間話がひとしきり終わったところで、ふと思出したように狩野安さんは私に目をやり、「・・・で、本日はこちらの方が、ね・・・」と私に話を振った。そこで私は用意していたO-マップを出して簡単にOL競技と愛知世界選手権の説明、その大会

に世界で最も貧しい国の一つルーマニア選手を招致したい旨伝えた。

これが省エネスーツだっ! (2001高知ニュース)



陳情のポイント

さて、ここで、改めて「どうして羽田孜さんにルーマニア選手招致のお願いなのか?」。一番の理由は、彼が日本ルーマニア協会会長であるということ。しかしそれだけでは「大義」として弱い・・・。私は単にお願いするだけ、という行為は大の苦手、なので、事前にいろいろ考えた。前回の「WOCへ世界の選手を招致する!」にも書いたように、なにごとにもストーリーが必要なのだ。

で、考えたストーリーは「経済格差がスポーツ競技への参加格差に繋がっ

ていいの？ お金持ちだけが世界大会に参加できるという構図があってもいいの？ その問題に取り組む政治家はリスペクトされるのではないの？」というマスコミが特集しそうな社会派的なもの。折りしも貧富の差がテロ活動を推し進めているという意見がメディアに出ていたところでもあり、政治家にぶつけるストーリーとしては一番適切だろうと考えた。

そこで、「過去における WOC への国ごとの参加人数と、その貧富の差」のデータを出してみた。WOC の国ごとの参加人数を数年分出すのも苦労したが、参加国の「貧富」を表すために、それぞれの GDP を調べるのも苦労した。ネットで探してみたのだが、なかなか一覧で出ているサイトはないもの。

おまけに苦労して、「貧富の差」と参加人数の関係性を出そうとしたのだが、どうもうまく出てこない。ハッキリ言って、関連性は無いみたい……。

ハア、ショック……。

こういうものは、たとえ意図的な数字であっても客観的な資料が作れないと、返って悪印象になってしまう。結局あきらめた。とりあえずここは、「貧しい国代表ルーマニア」を数字的にかたって、スポーツ機会の貧富差をなんとなく伝える針小棒大的な嘆願書を作成することにしよう。

まあ、これでもストーリーの無いただの「お願い」をするよりはずっとマシなのだ。

出たっ！ ザ 怒号！

そんな私の「陳情」を聞いた羽田孜さんは、ビリリッと反応した。理解の速さはさすが政治家である。

「そうか！ 話は分かるが、用意できるとしてもたいしたお金は出てこないよ。たかが 30 万や 40 万円だよ……」

えっ！ 30 万！？ 40 万円！？
いやーじゃーん！ 十分ですよ～！

ハヤル気持ちを抑えて私は言った。

「いや羽田センセイ、たががとおっしゃいましたが、その 30 万や 40 万円でも十分なんですよ。25 万円あれば一人追加で来日できるんです」

「ん！ むむっ…… あ、今 30 万 40 万で言ったけど、それはモノノタトエ

でね。なんたって、ボクはお金が無い政治家として有名だから……」と話途端に横道に逸れ始めた。はぁ～残念。でも、やっぱり政治家にとって 30 万 40 万円は「たがが」の単位なんだわ。私の友人に「700 円以下はタダ同然だ」と豪語してたのがいたけど、それと同じ感覚なのかも。

でも羽田孜さんは、真剣にいろいろと考えてくれた。

「うーん、たしかギレンキンがあるな……。たしかヤナギサワセンセイが担当してたな。おい、ちょっと確認してみろっ」と矛先が急に羽田孜さんの秘書に飛んだ。

「はっ、たしかそのギレンキンは今はナントカカントカ……」

「だから、ヤナギサワセンセイがやっているのかどうかだけ確認しろってってるんだっ！」

出たっ！！ 政治家の怒号だ！ すごい迫力！！ やっぱ本物だわ。

ちょっとビビリつつも感銘を受けた私の気持ちには気づく様子もなく、羽田孜さんは誰に語るともなく、猪谷千春さんと羽田家の古いつながりについて語り始めた。

「ボクのうちは地元で本屋をやってたね。昔から猪谷さんのお父さんとは交流があったんだ。ある日急にうちを訪ねて来てね……」羽田孜さんは長野県上田市が地元。そのつながりで猪谷さんとは懇意にしてるらしい。つまり上田市は総理大臣と、国際オリンピック副会長（& 唯一のアルペンスキーオリンピックメダリスト）を出していることになる。

……と、羽田孜さんの昔話を聞いてると秘書がこわごわと部屋に戻ってきた。「ギレンキンはたしかにヤナギサワセンセイがご担当されているそうです。本日は既に地元へ帰られてるそうです……秘書が会って話を聞いてくれるそうですよ」

それを聞いた羽田孜さんはホッとした顔をして「ヤナギサワセンセイの秘書にお願いしてご覧よ、ねっ？」と話を持ちながら立ち上がった。と、机上の O-マップもスッと小脇に抱えてしまった。あっ、それは見せるだけのつもりだった、ルーマニアと富士の貴重なマップなんですけど……。さすがに「返して」とは言えず、私は素直に本日のお礼を言って引き下がった。

一度手にしたものは、さりげなく美しく引き取る所作は、やはり流石政治家

家だわ……と変に感心してしまったが、とにかく、羽田孜さんは O-マップを手にした数少ない政治家の一人になったことは間違いない。



Oマップが眠る衆議院会館近くの国会議事堂

秘書もいろいろ

約 30 分の羽田孜さんとの面会が終わり、今度はヤナギサワセンセイ（衆議院議員 柳澤伯夫）の秘書大矢根さんとお会いすることになった。狩野安さんと加藤秘書、幕内さんも一緒にお部屋を訪ねた。

「やーやーやー、どうもーおー」と大矢根秘書の声はすごくデカイ。端正な顔立ちだけど、目チカラがすごい。なんだか政治家みたいだ。

私の話を一通り聞いた大矢根秘書は、「そっかー、ルーマニアかー。GDP 低いんだよねー、ウクライナも低いんだよ、知ってる？」（なんでウクライナ???)

「今度名古屋でルーマニアから楽団を呼ぶ企画があるんだよ、行ってみる？ 募金箱とか置いとくと、結構お金入るかもしれないよ！」

いや、遠慮しときます、と言いつつ、本題のギレンキンの話が気になる。特定の議員さんから募っているお金で、数年間、手つかずという。

「話はだいたい分かったよ。ギレンキンのことは柳澤に聞いておきますから、返事は来週くらいかな」

よろしくお願ひします、と頭を下げ、部屋を出た。

それにしても政治家の秘書というのも個性豊かだ。控えめでそつない感じの加藤秘書には、上品な狩野安さん。スピーディだがちょっとオドオドした印象の秘書には怒号飛ぶ羽田孜さん。大矢根秘書のセンセイはつまるところ、やっぱり大声で喜怒哀楽分かりやすい明るい人ではないだろうか。

そんな想像をしてるうちに、参議院会館の門に来た。「じゃ、私はここで。どうぞ頑張ってくださいね」と最後まで優しく狩野安さんは声を掛けてくれた。……こちらこそ郵政問題の忙しいときに、ホントすみませんでした……。

個人的な道楽と言っても過言ではないルーマニア選手招致の活動に対し、沢山の人たちに動いていただいた。約9ヶ月前に思い立ったときはここまで多くの方の協力をいただけるなんて思わなかった。ましてや政治家の皆さんの手まで煩わせることになるなんて・・・

いま改めてシミジミありがたく感じます。ハイ。

この「愛知世界選手権へ世界の選手を招致する！」に登場いただいた全ての方や、あえて登場いただかなかった方も含め心から感謝します。本当にありがとう・・・。

ルーマニア選手無事到着

話はぐっと飛び越えて2005年8月3日。朝8時の飛行機でルーマニア選手二人が中部国際空港に到着した。

前日から名古屋入りしていた私ははやる気持ちで到着口を見つめる。まだ？ まだ？ と上ずった気持ちと裏腹にエミールとアンカが満面の笑みで見られた。



その夜にはカナダから日本入りした自費参加のヴァルとニックも到着。8月5日に作手村入りした。

そして、ノルウェイからやってきた自費参加チュシャもあわせて全員集合。



この後にルーマニアから遅れエントリーの選手も到着。

実際のレースは、本命のチュシャを除いて全員が苦戦。ヨーロッパのミリタリーOでメダルを欠かしたことがないエミールでさえも暑さと激アップに大ダメージを受けていた。

トレキャンの際、アンカと一緒に走って見たがコンタの巻き方が「全くの未経験者」。私が言うのも生意気ですが、

日本のオリエンティアが常に考える「無駄な登りをいかに避けるか」という発想が全くないようだった。

おまけに日本到着当初、彼らはほとんど水分を摂っておらず、軽い脱水症状もあった。ルーマニアにいるときは、本当に乾いたとき以外は滅多に水を飲まない。それでもあんまり汗をかかないからなんとかなるのだ。滝のように流れる汗にも、なんじゃコリヤアという反応だった彼らは、日本に到着して3日目くらいからようやく水を沢山飲み始めた。だから言ったのに・・・とは、グツリしている彼らの前では言えませんでした。



作手村で大変お世話になったご家族と

ルーマニア、初リレー

そして迎えた8月14日。この日は特別な日。目標だったリレーがいよいよ実現する日なのだ。

当日、広報部門を担当していた私はラッキーにもスタート地区でメディアの外国人記者対応をすることに。結局記者は一人も現れなかったが（笑）スタートフラッグを通過していく選手のほとんどを目にする幸運に恵まれ、当然ルーマニア女子の姿もしっかり見ることができた。

結果は・・・二走で9位だったものの三走で崩れてしまい、結果は17位。彼らはずいぶんガツカリしていたが私は大満足だった。丁度一年前からの私の野望が達成されたんだから。愛知世界選手権でルーマニア代表リレーを組む！これが目標で突き進んできた一年だった。やっと終わったー。あー良かった！！

ありきたりですが「ありがとう」

これで昨年10月から連載してきたこの連載も終わります。読んでいただきありがとうございました。分かりづらかった点や読み損なってしまった号がありましたら、直接連絡をいただいても構いません。お待ちしております。

「オリエンテーリングはマイナーな競技だから、スポンサー集めやメディアを集めるのは難しいよなあ」とよく聞

きます。私もそう思います。でもオリンピック代表になる選手もほとんどが自費で遠征費や衣装代を出しているそうです。スポンサーに恵まれた環境でできるスポーツなんて、滅多に無いんです。一体どうしたらいいんでしょう。

答えはたぶん、「前進するしかない」ということだと思っています。会社や学校でオリエンテーリングの話をしてみる、なにかの研修や集まりにオリエンテーリングを提案してみる（私は昔、1日60万円でオリエンテーリングを使った新入社員研修を企業に売ったことがあります）オリエンテーリングをもっと楽しむために時間から自由になれる（かつ儲けられる）働き方を探してみる・・・。そういうことが前進していくことだと思っています。

ルーマニアの愛知世界選手権参加のため動き回った1年間、オリエンテーリングとは全く無関係の方々や、私と出会うのも初めてという方々が、私以上に真剣にこの問題に関心を示してくださいました。だからこそ、前進してこれたのだと思い、心から感謝申し上げます。

<Special Thanks>

- ・ いろいろとご相談に乗っていただいた愛知世界選手権事務局の皆様
- ・ ジェロヴィタル関連の日本企業の皆様
- ・ 日本ルーマニア協会および日本ルーマニア交流協会の皆様
- ・ ルーマニアでお世話になった日本人ビジネスパーソンの皆様
- ・ ルーマニアの話を聞く会合を開いていただいた皆様
- ・ 05 東大会でルーマニア物品を買っていただいた皆様
- ・ 寄付していただいた皆様
- ・ 動いていただいた議員と秘書の皆様
- ・ 愛知や奈良、京都で招致した選手を受け入れていただいた皆様

～どうもありがとうございました～

KeyVital Cosmetics

<http://www.keyvital.com/>

活動中に出会ったアンチエイジングのスキンケア「ジェロヴィタル」。このサイトで割安に買えます。

八尋 弓枝 yumieyahi ro@yahoo.co.jp
*当ブログに登場する人物は実在の人物と異なっているケースがあります。